

村山地域「入退院支援ルール」の統一に向けた経過について

1 趣旨

病院から退院後に切れ目なく医療や介護サービス等の必要な支援を受けられるようにするため、「入院時」から「退院時」における病院と介護支援専門員（以下、「ケアマネジャー」という。）等の入退院支援ルールを明確化する。これにより、医療と介護の連携を一層強化し、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

2 現状・課題

村山地域医療機関退院支援部署連携会で作成した「転院連絡票」・「入退院支援フロー」、山形市が作成した「退院支援フロー（地域版）」、県立河北病院と河北町間の情報提供書等があり運用中であるが、各地域を越えて患者が行き来しており、退院後も切れ目のない医療と介護が提供できるように統一した入退院支援ルールが必要である。

3 村山保健所におけるこれまでの関連会議開催状況（平成30年度）

	会議等名称	開催日	内容	備考 参集機関等（参加者数）
1	医療と介護の連携推進に関する情報交換会	7月30日	意見交換を実施し、入退院支援ルールの統一に向けた検討を進めていくことになった。	市町、在宅医療介護連携拠点、病院担当者
2	第1回在宅医療専門部会	10月19日	「入退院調整ルール検討プロジェクト」の設置承認	
3	第1回地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議	12月12、13日	入退院支援についての講演等、入退院支援について意見交換（グループワーク）	※1（114名、185名、合計299名） 講師※3
4	第1回入退院調整ルール検討プロジェクト	12月25日	3で出された意見・課題等を整理し、入退院調整ルール原案作成	※2 助言者※3
5	第2回地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議	1月16、18日	4で作成したルール原案について、意見交換（グループワーク）	※1（155名、80名、合計235名） 助言者※3（18日のみ）
6	第2回入退院調整ルール検討プロジェクト	1月28日	5で出された意見・課題等を整理し、入退院支援ルール案を作成	※2 助言者※3
7	第2回村山地域保健医療協議会在宅医療専門部会	2月22日	6で作成したルール案を協議し、 <u>入退院支援ルールを「入退院支援の基本的な約束ごと」と整理し、「村山地域入退院支援の手引き（案）」（資料⑥）を作成</u>	

※1：郡市医師会、病院、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、在宅医療介護連携拠点、市町等

※2：構成団体（18）：郡市医師会、病院（看護部）、介護支援専門員、訪問看護、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携拠点、医療ソーシャルワーカー、村山保健所。オブザーバー：14市町。

※3：山形大学大学院医学系研究科看護学専攻准教授大竹まり子氏

4 今後の対応

- (1) 村山地域保健医療協議会において「村山地域入退院支援の手引き（案）（資料⑥）」について協議
- (2) ((1) で承認後) 関係機関への周知・通知等
- (3) 「村山地域入退院支援の手引き（案）」の活用・普及に向けた合同説明会（第3回村山地域「地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議（合同説明会）」（3月26日）の開催予定）
- (4) 「村山地域入退院支援の手引き（案）」の活用・定期的な点検協議